

# 東海道

(蒲・和田地区)

道あるき

【交通機関】  
JR天竜川駅

ふるさとを旅するこころ  
かばさくら



## 01 蒲神明宮 [神立町]

開創は、平安時代初期の806(大同元)年とされています。以降、時の権力者からも厚い保護を受け、鎌倉・室町時代將軍家からの下知状等、古文書39通が現存している。  
浜松市東区神立町471



### 蒲桜伝説

源頼朝・義経と兄弟の源範頼(蒲冠者範頼)は、幼少期この地で育てられました。平家打倒の拳兵にも、この地の桜の苗を持参したと伝わります。現在、境内に息づく蒲桜は三重県より里帰りしたものです。



江戸時代の宮大工の細やかな技!



## 02 宝珠寺観音堂 [上新屋町]

古くから、安産・子育ての守り神「子安さま」として信仰されてきた宝珠寺。特に目を引くのは、江戸時代に創建された観音堂。細やかに彫り込まれた装飾は、一見の価値あり。  
浜松市東区上新屋町212-3



### 東の細道みやげ



## 03 六軒京のしそ巻き [蒲地区]

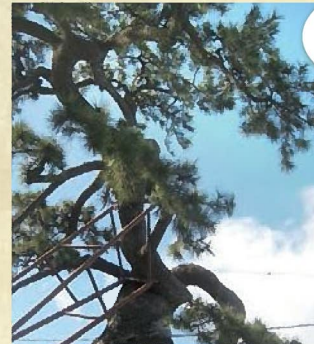
特選しそ葉で調味された味噌を巻き竹串にこれを一定数刺して植物油でカラリと揚げたり、焼いたりして風味豊かに仕上げられています。  
浜松市東区大蒲町83-11  
TEL.053-461-3677  
営業時間 8:00~17:00(日・祝定休) P有り

## 05 妙恩寺 [天龍川町]

1311(応長元)年に日蓮上人の法孫にあたる日像上人が開創。境内には金原明善翁の慰霊塔や、旗本松平氏の志士呂陣屋の代官をつとめるなか、歌人としても知られた石塚竜庵や本居大平の弟子であった波多完(はたまたき)の墓がある。  
宝蔵には日蓮上人直筆の本尊や御書の断片、戦国武将たちの判物などが納められています。  
浜松市東区天龍川町179

### 妙恩寺と徳川家康公

1572(元亀3)年の10月、家康公は袋井や中泉方面での武田軍との合戦で大敗し、天竜川の堤防から逃げ出して命がらからこの寺へ逃げ込みました。  
お寺の住職は家康公を天井裏に隠して、その下で朗々とお経を読んでいたため、家康公を逃して寺にきた武田軍に見つからずにすんだといわれています。家康公は住職からごはんをいただき、浜松城に無事戻ることができました。家康公より後年「丸に二引の紋所」を授けられたが、それはこの寺で食したお椀と箸を表しているそうです。



歴史ロマンを感じるポイントが数多く残っています



## 04 法橋の松 [天龍川町]

妙恩寺開基の金原法橋の屋敷の前庭にあったもので、県指定の天然記念物となっています。地上2メートルで幹周りが約5メートル、枝張り約12メートル、高さ約14メートル、樹齢約700年といわれています。

# 東海道

(和田・中ノ町地区)

## 道あるき

〔交通機関〕  
遠鉄バス 中ノ町磐田線

ひかりあふ天竜川の薫かな  
てんりゅうがわ すみれ

天竜川と人々の生活や旅人の息づかいを感じることができます



### 01 金原明善翁生家 [安間町]

1832(天保3)年に、誕生した金原明善翁の生家を改修し一般公開しています。家の土台・梁などは当時のものをそのまま使用し、歴史的に貴重な資料も展示中されています。  
浜松市東区安間町1  
○開館9:00~16:00(毎週月曜・祝日休館)  
○入館料無料 ○P有り



### 金原明善翁(1832-1923)

**財産をなげうって治水や治山に貢献**  
「暴れ天竜」と恐れられた天竜川は、たびたび大水害を起こしました。現在の安間町の名主の家に生まれた金原明善翁は、若い頃から天竜川の水害対策に奔走し、私財をなげうって治水・治山事業に貢献した浜松の偉人として語り継がれています。



### 02 まるがた通路 [材木町]

東海道の複線化が南北交通に支障をきたすとして、明治35年に請願書を提出して作られた通路。アーチ型の開口部と時代を思わせる煉瓦づくりのノスタルジックな光景が今に残る。



### 03 中ノ町フラワーロード [中野町]

地域住民の手により、四季折々の花が咲き誇ります。天竜川周辺のウォーキング休憩スポットとしても利用できます。

### 04 六所神社 [中野町]

六所神社は旅の安全を祈願する神として信仰を集めてきました。かつて社殿は西向きに天竜川を背にして建てられており、西向きの神社は珍しく中野町を見守る鎮守の意味があるのではないかと言われています。現在の社殿は天竜川堤防の改修により境内が狭くなり、南向きに建てています。  
浜松市東区中野町1423



### 06 天竜川の舟橋跡と木橋跡 [中野町]

徳川幕府の政策として、天竜川にも橋は架けられていませんでした。しかし、明治維新後、明治天皇の御東幸(ごとうこう)のために、舟を連結して2日間だけ橋が架かります。明治9年によく常設の橋が建設され、人々の往来が活発になります。当時の木橋は現在残されていませんが、浜松の東海道の旅の起点としても当時の名残を感じることができます。



### 07 伊豆石の蔵 [中野町]

天竜川沿いの木材交易の象徴と言える風景。木材を東京へ船で輸送した帰りの荷物として伊豆から石を積んできました。現在も、天竜川沿いに当時の姿で佇んでいます。



何気ない自然の姿に俳句の心髄があることに気づきます

### 05 中野町東海道跡

天竜川の堤防から西側を望むと、まっすぐに浜松に伸びる旧東海道の様子が見られます。当時の様子が目に浮かぶような街道の風景が今も残っています。



### 中川屋

創業136年の歴史を誇るうなぎの老舗中川屋。自前の井戸水で十分に臭みを抜き、熟練の技でクセがなく香ばしく焼き上げます。  
浜松市東区中野町861-2  
○TEL.053-421-0007  
○営業時間 11:00~14:00 17:00~19:30  
(毎月7日、17日、18日、27日他要確認)  
○P有り

# 姫街道 秋葉街道

(積志・長上地区)

## 道あるき

[交通機関]

積志地区 道鉄バス 山の手医大線  
長上地区 道鉄バス 蒲・笠井線



かえらざる過去よ 姫街道に雪

紗希



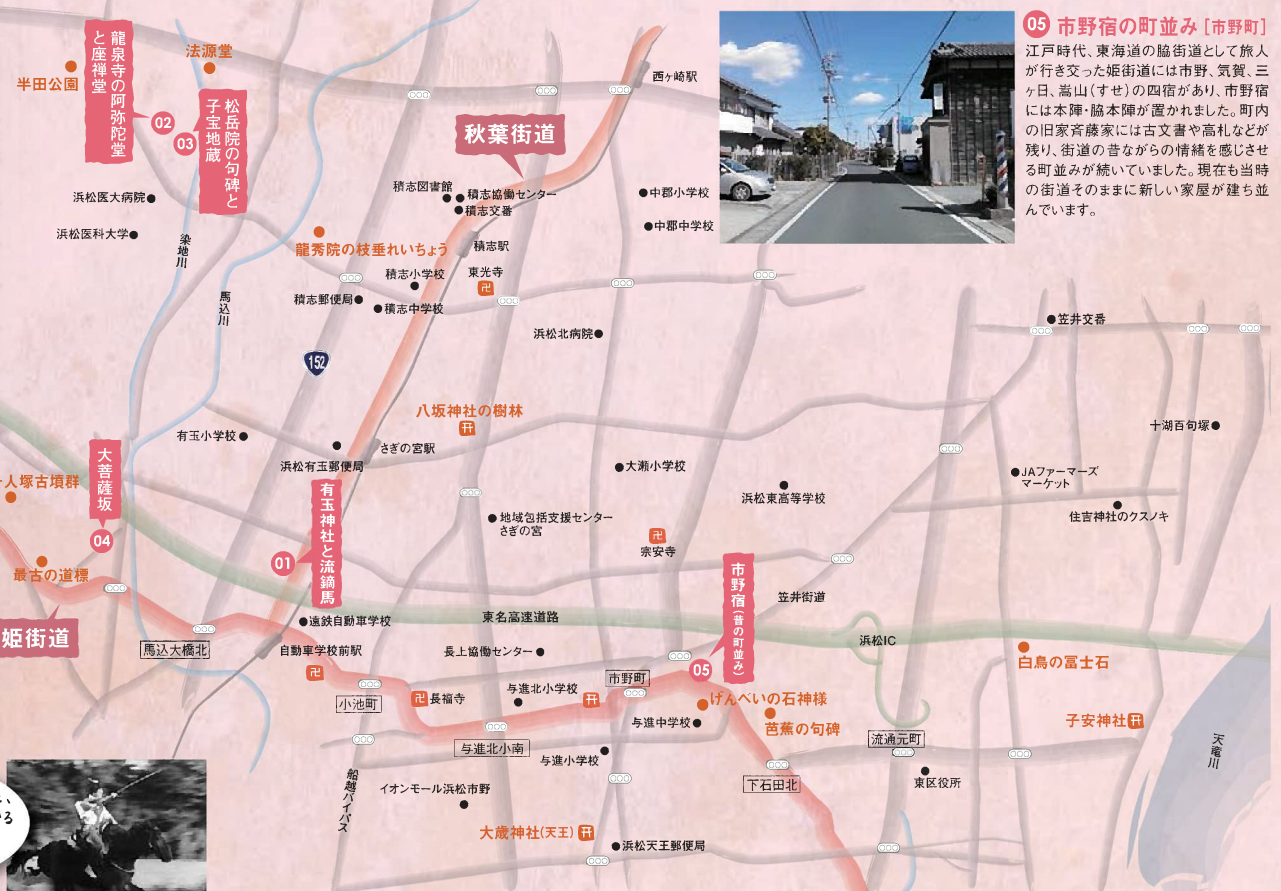
積み重ねた時の流れとい、  
人々の息づかいを感じる  
数多くの場所が  
残っています。



**02 龍泉寺の阿弥陀堂と座禅堂** [半田山四丁目]  
本尊阿弥陀如来像は聖武天皇時代の名僧行基の作と伝わっています。三方原の戦いに敗れた家康公がこの阿弥陀堂に隠れたところ、阿弥陀如来から武田軍を欺く策略を授かったという伝説も残っています。  
浜松市東区半田山四丁目18-5



**01 有玉神社と流鏑馬** [有玉南町]  
天照意保比留売貴命(あまてらすひるめきのみこと)外二十二柱の神を祀っています。主神のご神徳は万徳を備えられている神で、全国の氏神様の総親神です。徳川家康公が大坂夏の陣より帰陣後、戦勝を祝って秘蔵の薬馬を奉納したと言われています。以来、流鏑馬(やぶさめ)を例祭日の行事として400年の伝統を今に伝えています。  
浜松市東区有玉南町1624-1



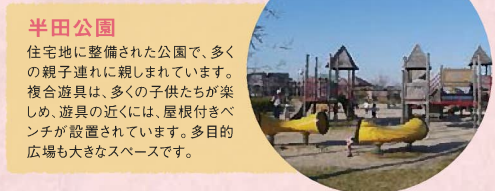
**03 松岳院の句碑と  
子宝観音** [半田山四丁目]  
羽木夷白(とちぎいはく)と並ぶ俳人である久米甘谷(くめかんこく)の句碑が建てられています。また、境内には子宝地藏があり、多くの参拝客が訪れます。  
浜松市東区半田山四丁目7-11



**最古の道標**  
「右きがかなさし左内道」とあり、裏面に天保(てんぽう)3年(1832年)と刻まれています。建立年月が刻まれている道標としては浜松最古で、街道の名残を感じるスポットです。



**05 市野宿の町並み** [市野町]  
江戸時代、東海道の脇街道として旅人が行き交った姫街道には市野、気賀、三ヶ日、嵩山(すせ)の四宿があり、市野宿には本陣・陣本陣が置かれました。町内の旧家斉藤家には古文書や高札などが残り、街道の昔ながらの情緒を感じさせる町並みが残っていました。現在も当時の街道そのままに新しい家が建ち並んでいます。



**半田公園**  
住宅地に整備された公園で、多くの親子連れに親しまれています。複合遊具は、多くの子供たちが楽しみ、遊具の近くには、屋根付きベンチが設置されています。多目的広場も大きなスペースです。



**04 大菩薩坂** [有玉西町]  
秋葉街道を南下してきた武田軍が、三方原の戦いに望む際の進軍ルートと言われています。この地に「欠下城」と呼ばれた城があり、その遺構を利用して本陣が敷かれたと推定されます。

# 笠井街道

(笠井地区・長上地区)

## 道あるき

〔交通機関〕  
遠鉄バス 蒲・笠井線



**01 笠井観音堂(福来寺)【笠井町】**  
806(大同元)年洪水で悩んでいた村人が、川のかなで光る仏像を発見したことに由来すると言われています。それ以来笠井の人々に親しまれている観音様です。 浜松市東区笠井町252



**02 定明寺のクロガネモチ【笠井町】**  
室町時代末期に創建された定明寺。細女郎キツネなどで古くから親しまれています。境内のクロガネモチは市指定の樹木に指定されている古木です。  
浜松市東区笠井町1202



**十日市(だるま市)**  
明治24年から1月10日に福来寺境内で行われているだるま市。最初に小さいだるまを買って、毎年だんだん大きいだるまに買い換え、福がだんだん膨らむと言われています。

**03 春日神社と燈籠群【笠井町】**

1482(文明14)年室町將軍足利義尚創建と伝えられ、1541(天文10)年今川義元社殿を造営し社領を寄附したといわれます。境内に並ぶ燈籠群は幻想的な風景で、古くから人々からの厚い信仰を集めていることを物語っています。  
浜松市東区笠井町1348-1



**04 源長院の三遠農学社 記念碑と句碑群【豊町】**

松島十湖の菩提寺。松島茂岡、司馬老泉の墓碑、報徳関係者碑、句碑があります。また、周辺の農業開発に尽力した三遠農学社の功績をたええる記念碑も建っています。  
浜松市東区豊町2608

こうじん  
ほい  
のみか暮れか  
る

季何



**06 御嶽神社境内の百人一句塚【豊西町】**

通称「おんたけ様」。毎年11月3日に大祭があり、火渡りが行われます。境内に百人一句塚、摩丸(いそまる)の歌碑などがあり、その名の通り、数多くの句碑が集まっている場所です。 浜松市東区豊西町437-3

はる  
あさ  
春  
浅  
し  
句  
碑  
見  
て  
を  
れ  
ば  
友  
達  
も

とも  
だ  
ち

文香



**05 ビオトープ十湖池【豊西町】**

現地周辺にあった「十湖池」を地元有志達が再生し、市民の憩いの場となりました。地下水をくみ上げて水路をつくり、草も茂ってきたビオトープには昆虫や鳥も集まり始めています。



**07 十湖百句塚【豊西町】**

十湖百句塚は、当初弟子の大木久市郎らにより福来寺に建立されました。幾度かの移転をおこないつつ、追加建立や、地元有志による句碑の置入れが行われるなどして、法永寺の三色藤と共に多くの人々に親しまれてきました。現在は、十湖の生誕の地である豊西町に移転築造しました。

**08 安養寺のマキ【市野町】**

浜松市の保存樹に指定された大樹です。安養寺付近には、およそ1,800年前に天竜川の移り変わりによって「自然堤防」ができ、稲作技術をもった弥生時代の人々が移り住んだといわれています。  
浜松市東区市野町1731

